

北陵中学校の生徒が カワシンジュ貝を移植！

○カワシンジュ貝を移植しました！

今年度河川災害復旧工事を実施する木賊川の中流部において、工事実施箇所に生息が確認されたカワシンジュ貝を工事区間外に仮移植しました。移植作業には盛岡市立北陵中学校の生徒さんに協力いただき、時々小雨の降る中、約 200 個の貝を無事に仮移植しました。仮移植された貝は、災害復旧工事が完了した後、元の生息場所付近に戻す予定です。

1. 経緯

昨年 7 月 16 日から 20 日にかけての梅雨前線豪雨により河岸が決壊したことから、災害復旧工事を実施することになりました。計画区間には、カワシンジュ貝などの希少動植物の生息が確認されたことから、工事実施にあたっては、希少種の移植を行うなど、環境に配慮した工事を実施することとしたものです。

カワシンジュ貝の移植にあたっては、葛巻町で実施した土谷川の事例を参考にした他、福岡高校の竹内教諭のアドバイスを受けました。

工事実施延長 L=約 250 m (移植作業区域も同様)

2. 作業実施

作業実施について盛岡市立北陵中学校に話しを持ちかけたところ、総合学習で川の環境をテーマにするグループがあったことから総合学習の一環として実施することとしました。総合学習では、午前中に木賊川の洪水や水質などについて学習し、午後からカワシンジュ貝の移植作業を行いました。

3. 参加人数

盛岡市立北陵中学校 1 年生 11 名、
盛岡地方振興局職員 7 名程

4. カワシンジュ貝のカテゴリー

岩手県のレッドデータカテゴリー C ランク
環境省レッドデータカテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類

5. 工事実施予定

災害復旧工事は、今年度秋から着工し、3 月末までの予定。



テレビ局も取材にきました



箱メガネを使って探しています



仮移植先への放流状況

【北陵中学校の生徒からのお手紙】

梅雨もあけず、肌寒い日々が続いていますが、お元気ですか。

先日は、お忙しい中、私たちにお話しくんだり、体験までさせていただきありがとうございました。

午前中に聞かせていただいたお話は、洪水被害の要因、木賊川の水質、洪水対策など始めて知ることも多く、ふだんは聞くことのできない貴重なお話を聞くことができました。

午後は実際に木賊川に入り、カワシンジュ貝の移植作業をお手伝いさせていただいた時は、きれいな川にしか生息しないカワシンジュ貝を実際に見て触ることができ、貴重な体験をさせていただきました。カワシンジュ貝がこれから先、木賊川にずっと生息できるよう盛岡の環境をよくしていきたいと思えます。

私たちが今回の活動で学んだ環境の大切さなどを多くの人に広めたいと思えます。

これから本格的に暑くなると思いますが、皆様もお体を大切に元気にお過ごしください。